

令和2年度  
学校自己評価報告書

令和3年3月31日

学校法人ファースト学園  
専門学校ファースト学園金沢校

## 学校評価委員会

委員長 加藤 泰博（校長兼事務局事務長）

副委員長 山上 むつき（副校長兼情報システム科・情報ビジネス科 学科長）

委員 片口 瑞穂（グローバルコミュニケーション科 学科長）  
荒田 真一（情報システム科・情報ビジネス科 主任）  
羽場 和馬（広報 主任）  
遊佐 珠子（事務）

## 目次

- I. 学校の現況
  - (1) 学校名
  - (2) 所在地
  - (3) 沿革
  - (4) 学科構成
  - (5) 学生数及び教職員数
  - (6) 施設の概要
- II. 評価の基本方針
- III. 教育目標
- IV. 本年度の重点目標
- V. 評価項目の達成及び取組状況
  - (1) 教育理念・目標
  - (2) 学校運営
  - (3) 教育活動
  - (4) 学修成果
  - (5) 学生支援
  - (6) 教育環境
  - (7) 学生の受入れ募集
  - (8) 財務
  - (9) 法令等の遵守
  - (10) 社会貢献・地域貢献
  - (11) 国際交流
- VI. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

## I. 学校の現況

### (1) 学校名

専門学校ファースト学園 金沢校

### (2) 所在地

〒920-0022 石川県金沢市北安江1丁目6番27号

TEL : 076-222-5088

### (3) 沿革

1980年6月 北陸コンピューター学院設立  
1984年12月 学校法人北陸コンピューター専門学校設立  
1992年7月 ファーストコンピューター専門学校設立・北陸コンピューター専門学校を継承する  
1994年3月 学校法人ファースト学園設立  
1995年1月 文部省告示により専門士称号付与校となる  
2004年6月 金沢市堀川新町に新校舎竣工  
2016年4月 金沢市北安江に移転、校名を専門学校ファースト学園金沢校に変更

### (4) 学科構成

課程：工業専門課程

学科		就業年限	入学定員	総定員
本科	情報ビジネス科	2年	20名	40名
	情報システム科	2年	20名	40名
研究科	情報システム研究科	1年	10名	10名

学科		就業年限	クラス数	収容定員	
グローバルコミュニケーション科	第1部	進学2年コース	2年	1クラス	20名
		進学1.5年コース	1年6カ月	1クラス	20名
	第2部	進学2年コース	2年	1クラス	20名
		進学1.5年コース	1年6カ月	1クラス	20名

### (5) 学生数及び教職員数

学生数 89名 (令和3年2月28日現在)

教職員数 21名

### (6) 施設の概要

階	教室数	特別室
1階		学生ホール、休憩所
2階		多目的ホール
3階	4教室	保健室
4階	4教室	

## II. 評価の基本方針

学校の教育目標、計画に沿った取り組みの達成状況、学校運営等への取り組みが適切に行われたかについて自己評価を行い、学校運営等の課題について、継続的に改善を図るとともに、評価結果を公表する。

自己評価結果の客観性・透明性を高めるとともに、設置学科に関連する企業・団体、卒業生、保護者など、学校と密接に関係する者の理解促進を図り、継続した連携協力体制を確保するため、業界関係者、卒業生、保護者等学校関係者から規定に基づき選任した委員による「学校関係者評価委員会」を設置し「学校関係者評価」を実施する。

当該委員会の委員の助言、意見などの評価結果を学校運営等の改善に活用する。評価結果と改善への取り組みを本校ホームページに掲載し広く社会へ公表する。

### Ⅲ. 教育目標

本校は、工業分野において、情報処理技術に必要な実務教育を行うことにより、技術者としての技術を培い、社会に貢献できる人材の育成を計る。文化教養の分野において、日本語教育等を通じて、日本文化への深い造詣を養い、地域社会・国際社会に貢献できる人材を育成することを目的とする。

### Ⅳ. 本年度の重点目標

次の4つの視点から、教育の質の維持・向上を図り、入学した生徒が安心して学び、生活できる教育体制を実現する。

#### 1. 教育内容の質の向上

##### 1) 情報システム科・情報ビジネス科

- ・より実践的な授業内容へ移行
- ・就職支援の強化

##### 2) グローバルコミュニケーション科

- ・新カリキュラムの導入
- ・生活支援の強化

#### 2. 学習環境の質

- 1) 学生が、日常において教育を受け生活する校舎・設備の充実を行う。

#### 3. 教員の質

- 1) 教員間の評価、学生授業アンケートを通し、教員の教育力向上を図る。

#### 4. 広報の強化

##### 1) 情報システム科・情報ビジネス科

- ・年間計画をより明確にし、計画的に活動をする。
- ・県外も視野にいれ、活動する。

##### 2) グローバルコミュニケーション科

- ・直接現地に赴き、より安定した学生の確保を行う。

## V. 評価項目の達成及び取組状況

### (1) 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
①学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4	3	2	1
②学校における職業教育の特色は定められているか	4	3	2	1
③社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	3	2	1
④学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者・関係業界等に周知されているか	4	3	2	1
⑤各学科の教育目標・育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	3	2	1

#### 1. 方針・取り組み状況

- ①学校の理念は、明確に定められており、目的は学則第1条に明記している。
- ②実務教育を行うことにより、地域社会・国際社会に貢献できる人材を育成する。
- ③日本における教育環境及び社会情勢の分析、あるいは18歳人口の推移、入学生の多様化といった各種の条件を踏まえて、中長期的に目標を作成している。人材育成に関して、社会情勢を踏まえ、社会に貢献できる人材を育成する。
- ④学校案内等を通し、広く一般に情報を公開している。また学内においては、掲示板や各教室での掲示などにより、全教職員及び全学生に周知する。
- ⑤業界関係者からの意見を参考に、求められる人材を把握し、教育に反映させている。

#### 2. 課題

##### A) ④の項目について

ホームページでは掲載されていない。また学生への周知も十分とは言えない。グローバルコミュニケーション科の新設に伴い、留学生への初期周知が不十分であり、改善が必要な状況であるため課題として提起した。

#### 3. 今後の改善方策

- A) ホームページに掲載する。校内掲示物の充足と留学生に対して、母国語を使った対応を検討する。

#### 4. 特記事項

- ・特になし

(2) 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
①目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	3	2	1
②運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	3	2	1
③運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	3	2	1
④教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	3	2	1
⑤業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	3	2	1
⑥教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4	3	2	1
⑦情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	3	2	1

1. 方針・取り組み状況

- ①理事長・学校長の方針に基づき運営方針を策定している。日常業務は各学科長が具体化している。また各種委員会が定期的開催され、事業計画に沿った各業務や教育活動を報告し、内容の見直しや効率化の検討を行っている。
- ②理事会・評議委員会において承認を受け策定している。執行状況は各部署が管理を行い、年度末に総括すると共に改善点を検討し、次年度に反映させている。
- ③運営組織については、「組織図」「業務分担表」において明確にしている。各部署は、事業計画にそってそれぞれの業務を遂行し、有効に機能できるよう連携を図っている。
- ④案件に応じて、校長の承認を得て、確定事項となる。特に重要な案件については、理事会において審議され、確定する。
- ⑤整備しているが十分とは言えない。
- ⑥本校の実施している教育活動の情報は、ホームページで公開している。
- ⑦学生管理（学籍、成績、出欠、入学願書、就職、学費等）は、各データをコンピューターでの管理を行い、作業の効率化を図っている。また全教職員に対して、パソコンを配布し、イントラネット構築による業務のIT化を積極的に推進している。

2. 課題

- A) ⑤の項目について  
ハラスメントなど一部整備されていない。

3. 今後の改善方策

- A) 今後整備する。

4. 特記事項

- ・特になし

(3) 教育活動 (情報ビジネス科・情報システム科・情報システム研究科)

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
①教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	3	2	1
②教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	3	2	1
③学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	3	2	1
④キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	3	2	1
⑤関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	3	2	1
⑥関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技、実習等）が体系的に位置づけられているか	4	3	2	1
⑦授業評価の実施・評価体制はあるか	4	3	2	1
⑧職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	3	2	1
⑨成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	3	2	1
⑩資格取得等に対する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	3	2	1
⑪人材育成目標に向けて授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	3	2	1
⑫関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4	3	2	1
⑬関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	3	2	1

1. 方針・取り組み状況

- ①教育理念に沿う内容にて教育課程を編成し、教育を実施している。
- ②業界が求める人材の把握を行い、より対応できる人材育成を実施している。
- ③カリキュラムは、毎年度、定期的に各学科の状況に応じた見直しが行われ、変更が必要と判断された場合は、学科長が作成し、学校長の承認を得て、決定される。
- ④インターンシップ及び企業研修や企業人を招いての授業の実施などにより専門職への意識を高めている。
- ⑤提携企業と連携し、より実践力を身につけるために助言を求めカリキュラムを実施している。
- ⑥年2回のインターンシップへの参加を促し、連携企業での実習などを取り入れている。
- ⑦学期毎の授業評価アンケートを実施している。
- ⑧学校関係者評価委員会を開催し、各分野の関係者からの意見を取り入れる機会を得る。
- ⑨学則、その他細則に従い、シラバスに明記した内容にて評価・認定をしている。
- ⑩確実に履修が完了できるように、関係教員が一体となり、共通意識を図って指導している。
- ⑪学期毎に常勤教員・非常勤講師を問わず、学校・学科の人材育成目標を共有し、より良質の教育を目指している。
- ⑫常勤教員・非常勤講師を問わず、実務経験を持ち、指導力・向上心ともに高い人材を採用している。
- ⑬研修などに参加し、教員の資質向上や先端的な知識・技術の向上を心掛けている。

2. 課題

- A) ⑦の項目について  
今年度からの取組であり、実施・体制に関しては、まだ不十分である。
- B) ⑧の項目について  
外部関係者からの評価は受けておらず、不十分であると考えられる。

3. 今後の改善方策

- A) 評価項目や時期について妥当性を検討し、次年度調査する。
- B) 次年度より評価体制を整え、適切な評価を受ける。

4. 特記事項

- ・特になし

(3) 教育活動（グローバルコミュニケーション科）

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
①教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	3	2	1
②教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	3	2	1
③学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	3	2	1
④授業評価の実施・評価体制はあるか	4	3	2	1
⑤成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	3	2	1
⑥資格取得等に対する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	3	2	1
⑦人材育成目標に向けて授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	3	2	1
⑧関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	3	2	1

1. 方針・取り組み状況

- ①教育理念に沿う内容にて教育課程を編成し、教育を実施している。
- ②学科のディプロマポリシーを策定し、学習成果目標を明確化している。
- ③学科のカリキュラムポリシーを策定し、各科目の目的と目標を明確化している。
- ④学期毎の授業評価アンケートを実施している。
- ⑤学則、その他細則に従い、シラバスに明記した内容にて評価・認定をしている。
- ⑥授業の中で検定を意識した指導を行うとともに、検定前の時期は集中対策授業を行っている。
- ⑦ガイドラインに従い、要件を満たした人材を確保している。
- ⑧ICT教育やeラーニング等、新たな手法についての研修に積極的に参加している。

2. 課題

- A) ④の項目について  
今年度からの取組であり、実施・体制に関しては、まだ不十分。

3. 今後の改善方策

- A) ④評価（アンケート）項目や時期について妥当性を検討し、次年度調査する。

4. 特記事項

- ・特になし

(4) 学修成果 (情報ビジネス科・情報システム科・情報システム研究科)

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
①就職率の向上が図られているか	4	3	2	1
②資格取得率の向上が図られているか	4	3	2	1
③退学率の低減が図られているか	4	3	2	1
④卒業生・在学生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	3	2	1
⑤卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか	4	3	2	1

1. 方針・取り組み状況

- ①キャリア教育を実施し、就職フェアや、インターンシップへの参加を促している。
- ②各種検定を校内受験出来るようにし、受験しやすい環境を整えている。また習得が不十分な学生には個別に対策授業を行っている。
- ③成績の悪い学生については補講により対応している。出席率の低い学生については本人や保護者と面談し個人に合わせて対応している。
- ④在校生に関しては、ある程度把握している。卒業生に関しては、あまりしていない。
- ⑤卒業後、一年位はある程度把握しているが、その後は特に確認をしていない。

2. 課題

A) ③の項目について

出席率の低い学生について、対応はしているが退学者が出ている。更に退学を予防する対策が必要である。

B) ④の項目について

卒業生に対して社会的な活躍及び評価をあまり把握していない。

C) ⑤の項目について

卒業後のキャリア形成への効果をあまり把握していない。

3. 今後の改善方針

- A) 出席率向上に向け、本人や保護者との面談を増やし、問題点を共有し改善していく。
- B) 卒業生に対して、定期的に連絡をし状況を把握するように努める。
- C) 卒業生の状況を把握し、学生に必要とされる教育を行えるようカリキュラムの改善をする。

4. 特記事項

- ・特になし

(4) 学修成果 (グローバルコミュニケーション科)

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
①進学率の向上が図られているか	4	3	2	1
②資格取得率の向上が図られているか	4	3	2	1
③退学率の低減が図られているか	4	3	2	1
④卒業生・在学生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	3	2	1

1. 方針・取り組み状況

- ①全体及び個別の進学指導を行い、希望に合った分野への進学ができています。
- ②対策授業を行うなどしている。
- ③厳しい出席管理、生活管理を行い、失踪、退学につながるような予兆を見逃さないよう学生の様子に日々気を配っている。
- ④一部は把握できている。

2. 課題

A) ④の項目について

一部把握できていない。

3. 今後の改善方策

A) 全員について追跡調査を行う。

4. 特記事項

・特になし

(5) 学生支援

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
①進学・就職に関する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
②学生相談に関する体制は整備されているか	4	3	2	1
③学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	3	2	1
④学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	3	2	1
⑤課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
⑥学生の生活環境への支援は行われているか	4	3	2	1
⑦保護者と適切に連携しているか	4	3	2	1
⑧卒業生への支援体制はあるか	4	3	2	1
⑨社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	3	2	1

1. 方針・取り組み状況

- ①各学科にて進路・就職に関する支援を実施している。
- ②クラス担任体制で学生の相談に応じる以外に定期的に相談の時間を設けて対応している。
- ③各種奨学金の紹介、学内奨励金制度、学費分納制度などで支援している。
- ④定期的な健康診断を実施し、校内に保健室を設置している。またメンタルヘルスの授業を行っている。
- ⑤各学科の特色を活かせる活動を年に数回行っている。
- ⑥各学科に合わせて、家庭訪問や保護者面談、アパート点検などを定期的実施している。
- ⑦各学科に合わせて定期的に保護者面談を行っている。また必要に応じて臨時にも行っている。保護者からの電話などでの相談にも随時対応している。
- ⑧卒業生からの依頼がある場合には、進路や就職などの相談に応じている。
- ⑨委託訓練を含む社会人向けの付帯授業を実施している。

2. 課題

- A) ⑧の項目について  
卒業生への支援が十分とは言えない。

3. 今後の改善方策

- A) 定期的に卒業生に連絡し、情報を更新していき、必要な卒業生に対して積極的に支援できる体制を構築する。

4. 特記事項

- ・特になし

(6) 教育環境

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
①施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	3	2	1
②学内外の実習施設、インターンシップ等について十分な教育体制を整備しているか	4	3	2	1
③防災に対する体制は整備されているか	4	3	2	1

1. 方針・取り組み状況

①適切な施設・設備は整備されている。

②整備されている。

③定期的に消火設備についての点検及び防災訓練を実施している。不備な箇所については随時修繕を行っている。

2. 課題

A) ③の項目について

留学生の増加に伴い、防災に対する教育方法の改善が必要である。

3. 今後の改善方策

A) 留学生に対して、わかりやすい教育方法の改善（言語など）と実施回数の増加などの対応を検討する。

4. 特記事項

・特になし

(7) 学生の受入れ募集 (情報ビジネス科・情報システム科・情報システム研究科)

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
①高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組を行っているか	4	3	2	1
②学生募集活動は、適正に行われているか	4	3	2	1
③学生募集活動において、教育成果（資格取得・就職状況等）は正確に伝えられているか	4	3	2	1
④学生納付金は妥当なものとなっているか	4	3	2	1

1. 方針・取り組み状況

- ①パンフレットの作成やホームページなどで学校説明や募集要項を記載して請求者に配布している。また専任の広報担当者が定期的に高等学校を回り、広報活動を行っている。その他、高等学校でのガイダンスや体験授業、定期的なオープンキャンパスの開催などを行っている。
- ②広報が対象の高等学校等を回り直接募集活動を行うほか、リクルート機関を使って行っている。
- ③教育成果の情報伝達を学校案内やホームページに記載し広く伝える。また各学生の母校に訪問し個別に報告している。
- ④教育内容に応じて適切な金額と思われる。また他校と比べても著しい違いはない。

2. 課題

A) ②の項目について

広報範囲が限定されており、更なる入学者数の増加に繋がる改善策を考える必要がある。

3. 今後の改善方策

A) 広報担当者の増員に伴い、今後はエリアや対象を広げて広報活動を行う。

4. 特記事項

・特になし

(7) 学生の受入れ募集 (グローバルコミュニケーション科)

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
①留学生送り出し機関等に対する情報提供等の取組を行っているか	4	3	2	1
②学生募集活動は、適正に行われているか	4	3	2	1
③学生募集活動において、教育成果（資格取得・就職状況等）は正確に伝えられているか	4	3	2	1
④学生納付金は妥当なものとなっているか	4	3	2	1

1. 方針・取り組み状況

- ①パンフレット、ホームページ上で学科を紹介し、募集要項を多言語で作成している。
- ②現地の日本語学校やエージェントと連絡をとり、また時宜を図って担当者が現地に赴き学校説明を行っている。
- ③現地への報告を行っている。
- ④教育内容に応じて適切な金額と思われる。また他校と比べても著しい違いはない。

2. 課題

A) ②の項目について

募集活動は限定の言語（日、英、越）でのみ行われている。令和2年度はコロナ禍で現地へ赴くことができず、学生への直接説明の機会がなかった。

3. 今後の改善方策

A) 渡航が可能になれば、再び現地での直接説明を行う。

4. 特記事項

・特になし

(8) 財務

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
①中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	2	1
②予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	3	2	1
③財務について会計監査が適正に行われているか	4	3	2	1
④財務情報公開の体制整備はできているか	4	3	2	1

1. 方針・取り組み状況

- ①土地・建物は法人所有であり、学生数も増加している。
- ②ほぼ予算・収支計画通りになっている。
- ③外部の会計事務所に会計処理及び監査を委託している。
- ④ホームページにて公開する。

2. 課題

- ・特になし

3. 今後の改善方策

- ・特になし

4. 特記事項

- ・特になし

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
①法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	3	2	1
②個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	3	2	1
③自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4	3	2	1
④自己評価結果を公開しているか	4	3	2	1

1. 方針・取り組み状況

- ①関連する法令を遵守している。
- ②教職員の情報はもとより学生の個人情報については細心の注意を払っている。
- ③自己評価を今回初めて実施した。
- ④公開していなかった。

2. 課題

- A) ③の項目について  
今年度からの取り組みである。
- B) ④の項目について  
今年度からの取り組みである。

3. 今後の改善方策

- A) 今後毎年実施し、学校関係者評価委員会からの提言も参考に問題点の改善に努める。
- B) ホームページにて学校自己評価報告書と学校関係者評価委員会の報告書を公開する。

4. 特記事項

- ・特になし

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	3	2	1
②学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	3	2	1
③地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4	3	2	1

1. 方針・取り組み状況

- ①協力校に対し、勉強会に教室を提供している。
- ②外部のボランティア募集についてチラシの掲示や呼びかけを行い、学生に参加を促している。
- ③委託訓練等を開講し訓練の機会を提供している。

2. 課題

- A) ②の項目について  
ボランティア活動にあまり参加していない。

3. 今後の改善方策

- A) ボランティア活動の趣旨を理解させ、積極的に参加するよう指導をしていく。

4. 特記事項

- ・特になし

(11) 国際交流

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
①留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか	4	3	2	1
②留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4	3	2	1
③留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4	3	2	1
④学修成果が国内外で評価される取組を行っているか	4	3	2	1

1. 方針・取り組み状況

- ①全学科において留学生を受け入れている。
- ②入国管理局の告示基準に従って、必要な報告を行っている。
- ③留学生の母国語を話せるスタッフを必要に応じて配置し指導を行っている。
- ④ホームページ、SNS等を通じて教育活動や学修成果を伝えている。

2. 課題

- A) ④の項目について  
ホームページやSNSでの紹介や報告が不十分。

3. 今後の改善方策

- A) ホームページ、SNSでの報告及びプレスリリースも積極的に行っていく。

4. 特記事項

- ・特になし

## VI. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

専門学校ファースト学園金沢校では自己点検・自己評価は、令和2年度より本格的に実施している。

評価項目については、「専修学校における学校評価ガイドライン」に準じ、実施している。

自己点検・自己評価の結果について学校外の関係者による評価を受けるため「学校関係者評価委員会」を組織し、委員会での評価・提言を学校運営の改善に繋げている。

評価項目では、ほとんどの項目で「4. 適切」、「3. ほぼ適切」との評価となり、教育目標達成に向けた教育活動に取り組んでいると考える。

しかしながら、変化の激しい社会において必要とされる人材育成を恒常的に輩出し、社会貢献していくために常に改善をし取り組んでいく必要がある。

今後は継続的に改善を図るとともに、評価結果を学校運営等の改善に活用していく。